

奈良県立医科大学整形外科で診療を受けられるかたへ

奈良県立医科大学整形外科では、保存療法・手術療法・化学療法・薬物療法などを受けていただくにあたって診療に必要なデータ、既往症、治療法、合併症などをデータベース化しています。よりよい医療を確立するために、治療結果も含めた様々なデータを分析し、その結果を学会や学術誌により学術的な場で公開する必要があります。その際は、臨床研究倫理指針や疫学倫理指針にのっとり、氏名などの個人情報が判明することのないように厳格に配慮しています。また、以下に示す研究内容は、奈良県立医科大学の倫理審査委員会にてその研究の実施の承認を受けております。ご質問・ご意見などがございましたら、奈良医大整形外科学教室（0744-22-3051、内線 3425, 2324）までご連絡ください。

研究一覧

対象	1998年10月以降に奈良医大付属病院にて骨・軟部腫瘍の治療を受けられた25歳以下の患者様
研究内容	当院に保管されている記録(画像・カルテ)から、予後、治療の効果、機能予後、社会復帰の状況などを検索し、この世代特有の問題点とその解決法を探索します。
実施担当医師	朴木寛弥、塚本真治

対象	1982年7月以降に奈良医大付属病院にて骨・軟部腫瘍の生検や手術治療を受けられた患者様
研究内容	当院に保管されている病理組織標本の免疫染色を行い、腫瘍の悪性度や発生・進展機構に関与するとされる分子の発現を検索し、新たな診断法・治療法の探索を行います。
実施担当医師	朴木寛弥、塚本真治